

# 特 別 研 修 報 告

## —— 磯根資源の増殖管理研修 ——

私達は漁業後継者対策事業の特別研修で、磯根資源の増殖管理（フクトコブシの増殖管理）について学んできたのでその概要を報告します。

### 1. 研修目的

磯根資源の増殖管理（フクトコブシの増殖管理）

### 2. 研修者

宮里 徳 茂（伊江漁協青壮年部）

下門 富 雄（        ”        ）

### 3. 研修期間

昭和62年5月31日～6月6日（7日間）

### 4. 研修場所

① 鹿児島種子島西之表市漁業協同組合

② 鹿児島県栽培漁業センター

### 5. 研修内容

西之表市漁協では、まず漁協市場でフクトコブシのセリを見学した後、フクトコブシの生産状況と価格調整、放流実績や漁場造成、漁場管理について説明を受けた。その後、放流漁場に実際に潜水して、漁場調査を実施し、フクトコブシ増殖に携わっている西之表市漁協組合員と意見交換を行った。

鹿児島県栽培漁業センターではフクトコブシの種苗生産や中間育成について学んだ。

### 6. 所 感

(1) 西之表市漁協の昭和61年度フクトコブシ生産量は60トン、金額にして1億2千万円で、そのほとんどが島内で消費されている。以前は漁期を制限したため、短期間に漁獲が集中し価格が安くなったが、現在は漁協が急速冷凍庫（-40℃）を設置して、1kg当り1,800円以下に下がると漁協が買い取り価格の維持を図っている。これは今後の参考になるものと思われた。

(2) 私達は伊江島でフクトコブシを放流しているが、今回初めて、実際に種子島の放流漁場に潜水して、放流フクトコブシや投入されているN型コンクリートブロックなどを観察することができました。放流漁場は水深1～5mのわりあい浅い場所で、フクトコブシの住み場となる玉石が多数あり、海藻も多かった。

(3) 漁場管理は地先の部落ごとに実施し、開禁日に漁獲されたフクトコブシの売り上げは、その会の運営費に使用されていることなど参考になることが多かった。

(4) 鹿児島県栽培漁業センターではフクトコブシ種苗が長期間、多数のタンクで手間をかけて中間育成されていたので感心した。

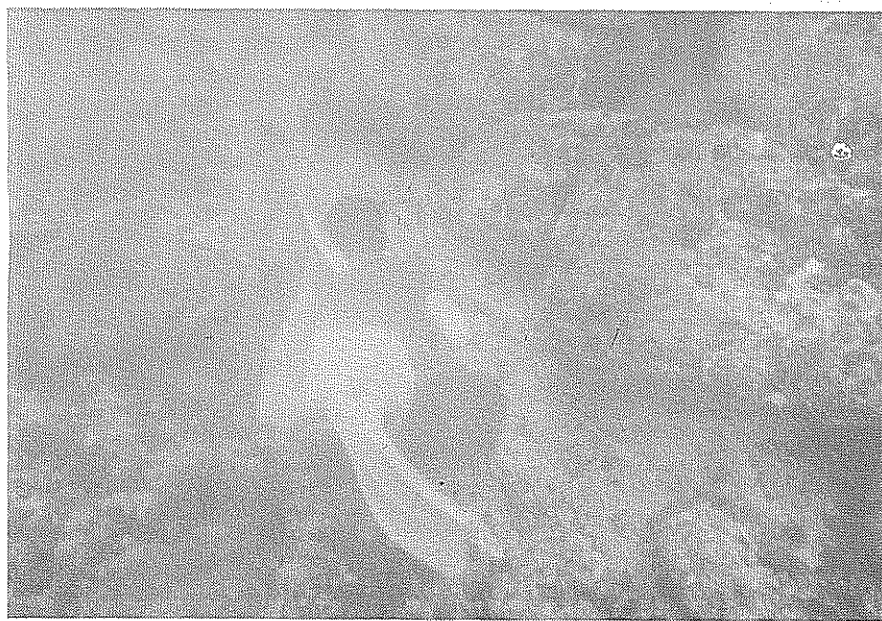
最後に、この研修の機会を与えて下さった水産業改良普及所と研修を指導して下さいました西之表漁業協同組合、熊毛支庁水産課、鹿児島県栽培漁業センターの皆様へ心から感謝申し上げます。



西之表市漁協のセリ（フクトコブシ）



フクトコブシ採集用具

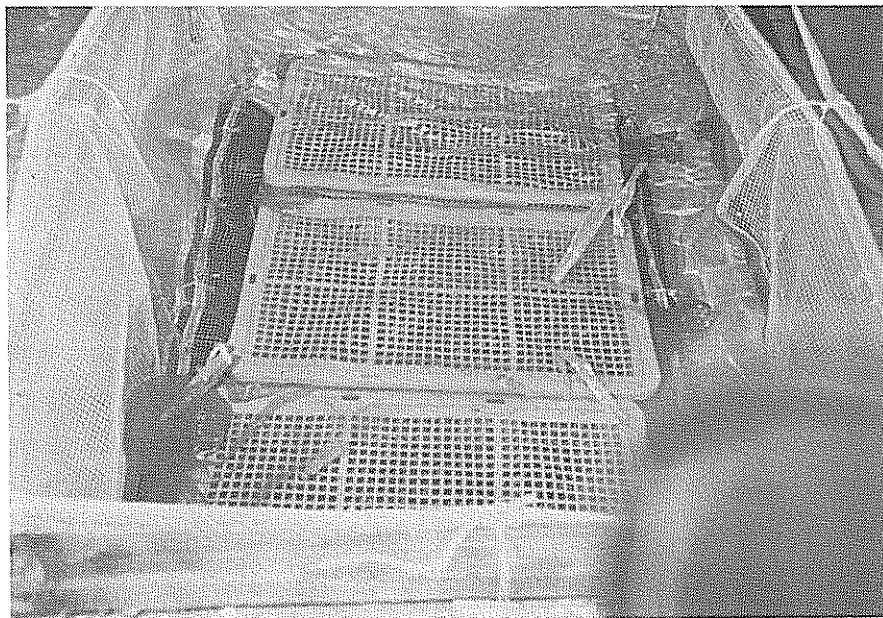


放流漁場の調査をする宮里氏

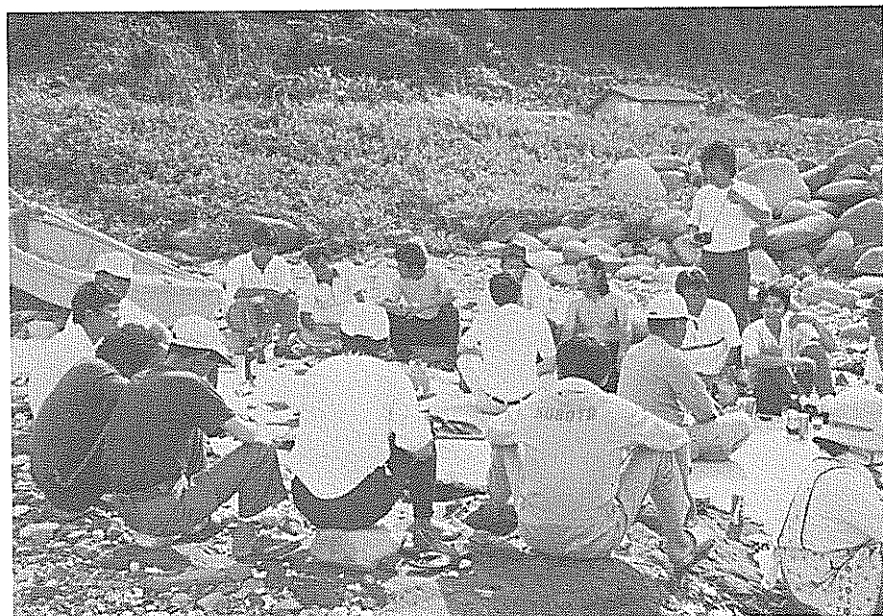


N型コンクリートブロックを起こす下門氏

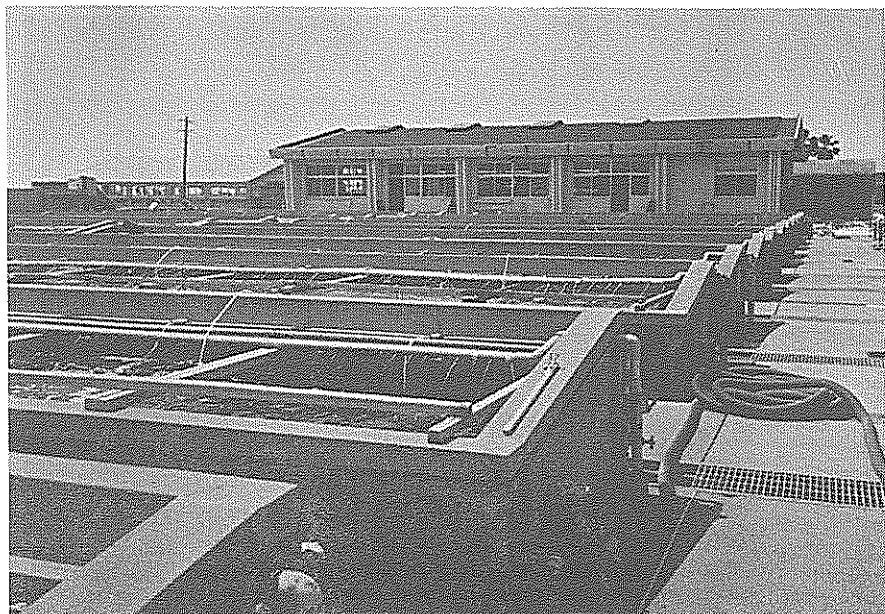




西之表市漁協が使用している放流カゴ



フクトコブシ増殖を実施している西之表市漁協組合員との意見交換会



鹿児島県栽培漁業センターのフクトコブシ中間育成タンク



フクトコブシ種苗の選別